





楽天銀行は楽天グループ内の金融サービスの中核として、グループ内のサービスとのコラボレーションと、そのシナジーを加速すべくネットバンキングを始めとするシステム開発体制を再構築しました。

従来の3カ月毎のリリース体制を2週間単位に強化。インターネットサービス特有のスピード感、日々変化するビジネスニーズに対応することを目的とし、開発・運用・サービスの各部門よりシームレスに結合させ、要件の発生から開発・テスト・リリース・運用までより効果的に提供可能な体制を目指しました。

主要ベンダーの1社、オープントーン株式会社も同社の「ITプロジェクト支援サービス」を用い全面的に協力しました。同サービスの特徴であるリソース支援にとどまらない、エンジニアリング面、プロセス面両面からネットバンキングとバンキングシステムを支える様々な基幹システムのショートリリース体制構築を成功に導きました。

当初、リリース期間の大幅短縮にあたっては、楽天銀行システム開発本部は単なるリソース追加によるシステム開発工期の短縮を目指せば、その増大したリソースのプロジェクト管理コストの増大とプロセスの複雑化を招く判断しました。そこで、株式会社オープントーンは楽天銀行システム開発本部とともにリソースの追加を最小にしつつリリースを加速する方法を模索いたしました。単なる開発リソースの支援にとどまらず、楽天銀行の若手エンジニアの育成にも協力し、長期的な視野での体制の構築を支援。

さらにはチームマネジメントからユーザー部門への調整、開発やテスト等プロセスの実施や改善、リソースの調整と調達、サービスそのものの改善の提案まで、多岐にわたり体制構築を支援しました。

また、株式会社オープントーンの製品である「Red Mine Client (以下RMC)」も導入し、Red Mineでのチケットによるプロジェクト管理体制を構築を支援。RMCが提供するチケット単位の作業時間を元に多数のベンダーにわたる多数のプロジェクトの効果的な管理が可能になりました。

こうした「見える化」の奏功により、要件の発生から開発・テスト・リリース・運用までの全体的な効率化のポイントの洗い出しに成功。その結果、ネットバンキングというミッションクリティカル性が非常に重要なサービスにおける「品質を損なわずに加速する」という非常に難しいミッションの達成が可能となりました。

楽天銀行は2週間単位のシステムリリース体制という、ネットバンキングには驚異的なスピード感を持つ開発プロセスの構築に成功し、楽天グループの金融サービスの中核企業としてさらなるグループ全体へのシナジー効果を加速していきます。

以上

株式会社オープントーンの「ITソリューションエンジニアリングサービス」

<http://www.opentone.co.jp/showcase/rakuten/index.html>

---

★会社概要

会社名 : 株式会社オープントーン

<http://www.opentone.co.jp/index.html>

〒101-0021 東京都千代田区外神田 4-9-8 神田石川ビル 4F

設立 : 平成 15 年 2 月 17 日

代表者 : 佐藤 大輔

従業員数 : 40 名 (2012 年 2 月現在)

資本金 : 1,500 万円

★本件に関するお客様からのお問い合わせ先

営業部: 二村 [sales@opentone.co.jp](mailto:sales@opentone.co.jp)

TEL : 03-4530-6222 FAX : 03-6368-4458

---